

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	コロナ禍前にできていた地域との交流や外出・ボランティアによる民謡等が中止になり、入居者様の楽しみが減少した。	コロナ前に近づけるようボランティアの導入、近隣との交流、外出の拡大をして、入居者の楽しみを増やす。	ボランティアへの依頼、ドライブ、散歩の範囲の拡大。	ヶ月
2	25	利用者の歩行や身体能力の低下が目立つ。	生活機能訓練や、意図的に生活の中に歩行訓練や体操等を取り入れ身体機能の向上を図る。	体操のビデオや1日1回以上音楽に合わせて体操をしたり、廊下歩行をする。	ヶ月
3	38	災害時の訓練ではスタッフだけではどうにもできない事例があり、地域の方の力が必要である。	災害訓練時には、地域の防災士、消防署の力を借り速やかに避難することができる。	避難訓練計画書作成には、地域の防災士や消防署に連絡し、指導して頂く。	ヶ月
4	13	認知症という病気の方との関わり方を学び、現場に生かせるスタッフ作りが必要である。	eラーニングや施設外研修受講で介護職としてのスキルアップを図り現場で生かせる。	認知症の学習会を施設内で開催し、認知症を学ぶ。又、自治体が主催する研修会に参加する。	ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。